

授業科目名 <英訳>	東洋史学(特殊講義) Oriental History (Special Lectures)				担当者所属・ 職名・氏名	人文科学研究所 教授 水野 直樹					
配当 学年	全回生	単位数	2	開講年度・ 開講期	2015・ 前期	曜時限	水2	授業 形態	特殊講義	使用 言語	日本語
題目	日中戦争・アジア太平洋戦争期の朝鮮社会										
[授業の概要・目的]											
朝鮮近代史の中でも、戦時期は朝鮮社会の変化が大きかった時期である。日本は戦争遂行のために植民地朝鮮を総動員体制に組み込み、「皇民化政策」を進めた。志願兵制度・徴兵制度をはじめ、日本語常用、「皇国臣民ノ誓詞」朗誦、神社参拝、労務動員、「従軍慰安婦」動員などがよく知られているが、社会・文化の様々な面でも大きな変化が見られた。これらの諸問題を考察することによって、現在の歴史認識問題を考える糸口とする。											
[到達目標]											
さまざまに議論されている植民地支配の諸問題、とりわけ戦時期の支配政策について考察するうえで基礎的な資料を理解し読み解く知識、能力を養う。											
[授業計画と内容]											
各週の授業では、上記のような問題を1つずつ取り上げて講義するとともに、受講者にも調査・発表を課すこととする。取り上げるテーマは、初回の授業で説明する。											
[履修要件]											
特になし											
[成績評価の方法・観点及び達成度]											
レポート(50%)および平常点(50%)											
[教科書]											
授業中に指示する											
[参考書等]											
(参考書) 授業中に紹介する											
[授業外学習(予習・復習)等]											
取り上げるテーマに沿って事前に文献・資料調査をすること。発表の際には、調査にもとづいて配布資料を作成すること。											
(その他(オフィスアワー等))											
オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。											